

2023
SUMMER

Vol. **31**

だいしん
ビジネス  てらす
地域のビジネスに光を照らす

だいしん ビジネスてらす レポート

2023年4月～6月期・実績

2023年7月～9月期・見通し



第14回
トップインタビュー

株式会社 工和製作所

■ ■ ■ 西濃地域のおすすめショップ紹介 ■ ■ ■

大垣ミラン動物病院



いっしょにあしたへ
大垣西濃信用金庫

<https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp>



LINE公式アカウント開設!
友だち追加はこちらから!
@ogakiseino-shinkin



2023年4月28日竣工



管理部門は2階オフィスに集約



倉庫



一人ひとりの働きやすさを重視



事業の拡大めざし長尺加工機を導入

第14回 トップインタビュー

株式会社工和製作所

〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町綾戸328-12 <https://www.kowa-seisakusho.jp/>
創業/昭和50(1975)年11月 資本金/1,000万円 代表取締役社長/宮崎 治己 従業員数/34名(2023年6月現在)
事業内容/金型設計製作・アルミ加工・専用機械設計製作



代表取締役 宮崎 治己さん

日本一小回りのきく金型屋さんが日本最大級の木造2階建て工場を実現しました。

【若山】 木の香りに包まれた新工場が誕生しました。固定概念を覆す工場建築でしたね。

【宮崎社長】 「新工場を木造に」とHAGIホーム・プロデュース(大垣市)さんからご提案いただいた時は、私も耳を疑いました。鉄骨に比べて木造は建設コストを抑えられますが、広さや耐久性は?と。半信半疑でシガウッド(長浜市)さんを訪ねたのですが、工場を見て「できる」と実感しました。技術の融合なんですね。2×4工法にトラス構造^{※1}を合わせると、鉄筋同様の耐震性を備えた大空間が実現できる。環境負荷が少なく、断熱・調温効果の高い木造工場は、社員にとっても、社会に向けても良い選択だったと思っています。

新工場は2階建て、延べ床面積約2,500㎡です。この規模の木造工場は前例がないため、互いの熱意とアイデアと技術を持ち寄って計画を進めていきました。1階は幅16m×奥行50m^{※2}の広スパン、空間に柱はありません。傷つきやすいアルミを扱うため、配線・配管を天井に収めて、つまぎゼロのフラット床を実現しました。

【若山】 事業再構築補助金^{※3}を活用されたと同いました。

【宮崎社長】 はい。当社ではかねてより事業の効率化と事業の拡大、社員が働く環境の整備をめざしていました。町内に点在する3つの工場を1つにまとめて組織を強化し、より良いモノづくりに貢献したいと。永年の夢を実現するきっかけとなったのは、国の事業再構築補助金事業です。当社では、「既存の工場では作れない長尺アルミ部材を加工する新工場を建設して、事業拡大を図りたい」という事業計画書を作成し、採択を受けることができました。

新工場には最長6mのNC加工機を導入。これまでの加工機は最長2mだったため、それ以上の長さが必要な時は手作業でつなぎ合わせていました。長尺部材のニーズは高く、その一例が「通路シェルター」です。近年バリアフリー化整備が進む鉄道の駅前で、駅からバス乗降場に直結する通路の屋根材などに活用。軽量で丈夫なアルミ材は今後も多方面で活用されていくと考えています。

【若山】 現在、貴社では金型製造からプレス加工、組み立てまでを一貫生産されています。

【宮崎社長】 当社の始まりはアルミサッシの金型づくりです。先代が、アルミ手摺の専門メーカーであるサンレール(垂井町)さんの工場の一画を間借りして、1975(昭和50)年に創業しました。本社工場建設後もずっと当社は金型一筋。転機が訪れたのは1997(平成9)年です。「金型製造の技術を生かして加工まで手掛けてみては」という助言を受けて、第一部品工場を建設。需要の拡大とともに、第二部品工場も建設し、金型設計からプレス加工、組み立て、梱包、出荷までを、自社一貫体制で行う現在のスタイルとなりました。新工場では作業の流れをできるだけシンプルな動線として、効率よく安全なモノづくりを行えるように工夫しています。

【若山】 金型製造だけでも、20,000型を優に超えるそうですね。

【宮崎社長】 方眼紙に図面を描いていた頃から総計すると、数え切れないほどの金型を製造しています。住宅資材をはじめ、太陽光パネルのフレームや新幹線などの車両の窓枠、空調吹き出し口、輪

※1 三角形の部材を組み合わせる骨組構造 ※2 6レーン以上の一般用50mプールと同様の大きさ
※3 変化する社会に対し、新たな取り組みを行う企業を支援する事業

出用自動車のシェードなど、種類も大きさも多岐にわたります。強く印象に残っているのは10数年前の太陽光ブームです。住宅用パネルが普及し、メガソーラー事業が急拡大していた頃、海外の工場で月産目標100万台を担うメーカーさんから依頼を受けました。品種が多いうえ、人気商品については7ライン分の金型をご希望とのこと。1ライン10工程とすると金型だけでも70個+予備型が必要ですから、作っては送り、作っては送る、毎日でした。競争が激化してくると、金型にも安価な類似品が出回り始めます。その多くは耐久性が低く、加工の折に疵が入るなど、肝心のノウハウが抜けているものでした。低価格に流れる取引先もありましたが、良品を安定的に量産できる当社の金型は長い目で見てコスパが高いと評価してくださるお客様もあり、難局を乗り越えました。

[若山] 製品の精度は金型の品質に左右されるといいますね。高品質を維持する秘訣はありますか。

[宮崎社長] 金型製造において大切にしていることは3つあります。1つは、お客様が求めているものをしっかりと見極めて金型を設計すること。例えば、小ロット生産する製品Aの金型は、耐久性よりもコストダウンを重視します。仕上がりの美しさを問うB社には、多少の手間が増えても疵をつけない対策をとります。すべての要素に最高の品質を求める必要はないため、それぞれの商品や企業特性にマッチする金型を考え、製造しています。2つめの取り組みは、金型専門家としての意見をご提案していくことです。金型の多くは仕様書通りの製造が求められるのですが、経験上、他にもよい選択肢がある場合は少なくありません。有難いことに、



作業効率を高めるレイアウト

サンレールさんは製品の構想段階からお声がけいただけるため、様々な視点から意見を交わす機会があります。製品のプロ、金型のプロ、お互いの専門性を活かすことで、結果的に高効率、高品質なモノづくりにつながっていると感じています。

3つめの取り組みは、メンテナンスと修理です。当社の金型は長くご活用いただくことを前提としており、一つ一つに刻印を入れて図面を管理しています。メンテナンスや修理の折は、解体して刃の部分研磨します。またサイズが変わってしまった場合は図面をもとに調整します。そして、仕上げには必ず金型で抜いて品質を確認します。試作品から量産品まで、当社の金型づくりは経験豊富です。何でも気軽にご相談いただければと思います。

[若山] 丁寧なモノづくりと環境に優しい新工場。これからも活躍を期待しています。本日はありがとうございました。

語り手/株式会社工和製作所 代表取締役 宮崎 治己 さん
聞き手/大垣西濃信用金庫 事業成長推進部 部長 若山 謙一

西濃地域の
おすすめ
ショップ紹介

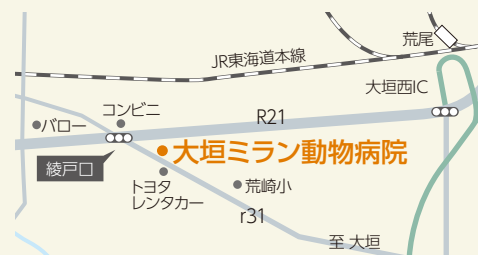
大垣ミラン動物病院



トリミング施設と
ペットホテルを備えた
犬猫専門病院です。



患者さんは犬と猫。主治医は2人の獣医師です。病気やケガで苦しむペットの痛みを速やかに緩和して、元気な笑顔を取り戻すために毎日奮闘しています。犬8匹と猫4匹までは同時に入院できるから、つきっきりで看病できない飼い主さんも安心です。皮膚病の予防や治療に役立つトリミング施設も併設(予約制)。飼い主さんもお気軽に悩みをご相談ください。



岐阜県大垣市長松町866-1
営業時間/9:00~12:00 16:00~19:00
休日/火曜日



- 調査期間 2023年4月～6月実績 2023年7月～9月見通し
- 調査時点 2023年6月
- 調査対象 西濃を中心とした地域の当金庫取引先事業所
- 調査方法 アンケート調査
前期(3ヶ月前)・前年同月(12ヶ月前)とを比較した質問を実施。
- 回答企業数 583 (回答率 97.2%)
- 調査結果

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計
198	37	108	94	123	23	583

大垣市	瑞穂市	本美市	海津市	養老郡	合計
246	19	67	16	41	
不破郡	安八郡	揖斐郡	本美郡	その他	合計
28	51	91	18	6	583

景気の状況と今後の見通し

全産業総合	<p>▶概況 全業種の3ヶ月前との比較で見た業況判断DIは、△1.5となり前期0.9と比べ悪化した。業種別業況では、製造業、卸売業は前回調査より悪化した。小売業、サービス業、建設業、不動産業については厳しい状況になった。全産業総合の個別項目については、生産・売上DI(前期4.3→4.5)、収益DI(前期9.5→△6.4)、資金繰りDI(前期△9.5→△8.8)と、いずれの値も前期より改善傾向にあるものの、収益、資金繰りについては、依然としてマイナスへの振れ幅が大きい状況にある。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、売上は回復傾向にあるものの、エネルギー価格をはじめとする物価高が依然として事業所の収益に影響を与えている事が窺える。全産業総合における今後3ヶ月間の予想では、生産・売上については引き続き改善の見通しが強いが、収益、資金繰りについては今期DI値からほぼ横ばいであり、引き続き厳しい状況が続くことが窺える。売上の増加見込みも受け、設備投資の今後の実施予定については3.0%と今期1.6%より若干増加している。</p>
製造業	<p>▶概況 製造業全体の業況判断DIは4.0と前期2.6より悪化した。今後の見通しについても8.1と製造業全体としては悪化傾向にある事が窺える。設備投資の予定では、今期実施割合2.0%に対し今後の実績予定5.1%と、売上増加を踏まえ設備投資への意欲が高まっている。一方で経営上の問題点として、「売上・受注の減少」「人手不足」「競争の激化」のいずれも増加している。また、受注は増加傾向にあるものの、物価高騰に対する値上げ交渉については、厳しい状況にある事がコメントから窺えた。</p> <p>▶製造業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車産業は、回復傾向にあり受注増加が進んでいる。特にEV化の進展は加速しており、工場を増設し受注に対応しているなどのコメントが見受けられた。 他の製造業についても、海外需要増加による海外向け受注の増加やメイン取引先の工場立ち上げによる受注増加などが発生しているが、メイン取引先の動向により業況が左右される事が課題とされている。受注増加の一方で人手不足感も続いている。また、外注取引先が廃業となり繁忙期において外注先が不足する事態が発生している。 物価高の影響は依然として続いており、エネルギー・鉄鋼・石材・木材などの様々なものが値上げとなり単価交渉を行うも難航している声も複数寄せられた。
卸売業	<p>▶概況 卸売業の業況判断DIは△8.1と前期△10.5より悪化したものの全業種の中でもマイナスへの振れ幅が大きい業種となっている。今後の見通しについては、業況判断は横ばい(今期△8.1→△8.1)となるも、収益(今期△5.4→△13.5)、資金繰り(今期△8.3→△13.9)と悪化しており、現在の物価高による収益への悪影響は当面続くと考えている事業所が多い事が窺える。各コメントにおいても、物価高による価格転嫁に苦戦している意見が多数見受けられた。</p> <p>▶卸売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ネット販売部門は引き続き好調。コロナ禍も落ち着いてきたため、今後はネット販売以外の売上増加を期待している。コロナ禍からの厳しい経済環境から零細事業所の廃業が増えており大型の事業所に注文がシフト、競争が激化していく事を懸念している。 仕入先メーカーでは、SDGsやコロナ禍の影響により在庫を抱えなくなってきたため、余剰在庫を安価で仕入れる事が難しくなった。仕入価格・電気料金等の高騰も続いており、より一層利益確保に努めていかなければならない。
小売業	<p>▶概況 小売業の業況判断DIは△7.4と前期△2.8より悪化した。前期との比較については、売上は横ばいであるが収益・資金繰りについては前期より悪化、物価高により仕入価格が高騰し収益の悪化に繋がっている事が窺える。経営上の問題点においては、「競争の激化」が25%と前回調査結果(14%)より大きく増加した。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、顧客は戻りつつあるものの、顧客獲得のため競争が激化している状況が窺える。</p> <p>▶小売業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、来店客は徐々に戻りつつあり、アルコール類の販売も増えてきている。コロナ禍で始めたテイクアウトの注文も引き続き堅調に推移している。コロナ禍からの回復は進んでいる一方で団体顧客はなかなか戻ってきておらずコロナ前の回復までは至っていない事業所も見受けられる。 売上は回復傾向にあるが大手企業との競争が激化してきている。少子化や電子書籍の台頭、電気自動車の普及などの社会環境の変化により書店、ガソリンスタンド、学生を対象とした教材は売上減少を懸念している。またネット通販が浸透しているが、ネット通販にて低価格の商品が手軽に購入できることによる、顧客離れを懸念している。
サービス業	<p>▶概況 サービス業の業況判断DIは△4.3と前期0.0より悪化した。売上・収益・資金繰りの各項目について、いずれも前回調査より悪化している。一方でウィズコロナが進む中、客足は徐々に戻りつつあるとのコメントが見受けられ、今後の業況については売上(5.3→9.6)収益(△14.9→△9.6)資金繰り(△10.6→△8.5)ともに改善する見通しである事が分かった。今後ともウィズコロナの進展により業況改善を期待している状況が窺える。</p> <p>▶サービス業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ規制緩和により観光地を中心に人が動き出している。インバウンド需要も回復基調にあり、団体旅行の予約も増加。イベントの開催も増えてきている。コロナ前に比べると、まだ客足は戻ってきていないが今後の売上回復を期待している。売上回復傾向である一方で、大手との競争は激化している。 運送業については、全体的に人手不足が続いている。2024年問題により労働時間の取締りが厳しくなり、人材確保が課題となっている。 中古車市場は落ち着きつつあるも、人気車種は高値で推移している。今後増加していくハイブリット車、電気自動車等の新技術力への対応を強化していきたい。
建設業	<p>▶概況 建設業の業況判断DIは0.8と前期8.1より悪化した一方で今後の見通しについては11.4と悪化を見込んでいる。コメントからは、コロナ禍から徐々に受注回復基調である声も複数見受けられ、今後の受注増加を期待している状況が窺えた。経営上の問題点については「人手不足」が前回調査より減少したものの、36.6%と他の業種と比べ高い水準で推移しており、今後の売上増加により人手不足の更なる深刻化を懸念する声も見受けられた。</p> <p>▶建設業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上については、コロナ禍による半導体不足も解消しつつあり、延期してきた受注が再開されてきた。官公庁からの受注については、減少していたが、今後は予算の回復により入札の増加を見込んでいる。対民間・対官公庁ともコロナ禍からの受注回復を期待しているコメントが多く寄せられた。 建設資材の高騰が続いている。工事毎に価格交渉を行っているが、希望の価格に請負金額が収まらないケースがある。また今後の状況も不透明。従業員の高齢化・働き方改革の進展により従業員の確保・育成・管理が課題である旨の声が多数あり、物価高騰対策・人手不足問題が建設業の大きな課題である事が窺えた。
不動産業	<p>▶状況 不動産業の業況判断DIは△13.0と前期△12.5より若干悪化、一方で今後の見通しは△8.7と悪化を見込んでいる。経営上の問題点では、「売上・受注の減少」が60.9%「競争の激化」が34.8%と厳しい状況に晒されている。コメントからは、売上は安定しているとの声と売上減少が続いているとの声の双方の意見が散見され、地域により売上の濃淡が大きい業種である事が窺える。</p> <p>▶不動産業コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上については、前回から大きな変動なく安定しているとのコメントの一方で、景気悪化の影響で不動産購入者が少なくなってきたとのコメントも寄せられた。都市部と地方との間で景気の二極化が発生しており、地域により需要に大きな差異が発生しているとの意見があった。 また、空地を手放す人が減少傾向にあり、販売用土地が枯渇してきたとの声があり、販売用土地の購入の競合激化が進んでいる事が窺える。不動産賃貸業においては、建物の老朽化による修繕が必要となるが、昨今の原材料高騰の影響で修繕費の負担が重くなっている事が課題となっている。

▶ 図表1 景況DI値

業種	業況			生産・売上			収益			資金繰り		
	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し	前期DI	今期DI	今後の見通し
全産業総合	0.9	▲1.5	4.1▲	4.3	4.5	12.0▲	▲9.5	▲6.4	▲6.0▲	▲9.5	▲8.8	▲8.2▲
製造業総合	2.6	4.0	8.1▲	7.2	9.6	17.2▲	▲14.4	▲8.2	▲4.6▲	▲13.5	▲9.8	▲9.8↔
食品製造	0.0	▲5.3	▲5.3↔	5.0	5.3	5.3↔	▲35.0	▲26.3	▲15.8▲	▲5.3	▲5.6	0.0▲
衣服その他繊維製品	0.0	7.1	0.0▼	0.0	7.1	7.1↔	0.0	▲7.1	▲7.1↔	▲23.1	▲7.1	▲7.1↔
窯業・土石	▲9.1	▲25.0	▲25.0↔	0.0	▲16.7	▲16.7↔	▲18.2	▲41.7	▲41.7↔	▲9.1	▲8.3	▲8.3↔
金属製品	9.1	0.0	6.7▲	9.1	6.7	0.0▼	▲4.5	0.0	▲13.3▼	▲4.5	▲13.3	▲13.3↔
金属プレス・メッキ	9.1	4.2	4.2↔	18.2	12.5	16.7▲	▲22.7	▲12.5	▲12.5↔	▲9.1	▲20.8	▲20.8↔
その他製造業	▲8.7	▲19.0	4.8▲	0.0	▲4.8	19.0▲	▲30.4	▲23.8	4.8▲	▲26.1	▲19.0	▲19.0↔
卸売業	▲10.5	▲8.1	▲8.1↔	▲2.6	▲8.1	▲2.7▲	▲15.8	▲5.4	▲13.5▼	▲8.1	▲8.3	▲13.9▼
小売業	▲2.8	▲7.4	▲2.8▲	0.0	0.0	5.6▲	▲9.3	▲12.0	▲10.2▲	▲7.5	▲8.3	▲9.3▼
サービス業	0.0	▲4.3	2.1▲	6.3	5.3	9.6▲	▲13.7	▲14.9	▲9.6▲	▲9.5	▲10.6	▲8.5▲
建設業	8.1	0.8	11.4▲	8.1	5.7	18.7▲	▲10.5	▲5.7	4.1▲	▲4.8	▲2.4	▲0.8▲
不動産業	▲12.5	▲13.0	▲8.7▲	▲16.7	▲8.7	▲4.3▲	▲8.3	▲4.3	▲4.3↔	▲8.3	▲4.3	0.0▲

今後の見通しは今期DI値と比較してDI値がプラスの場合は▲ マイナスは▼ 0は↔ で表記。

▶ 図表2 設備投資の状況

業種	設備投資			
	今期実施割合	投資の内訳(最も多いもの)	設備の目的(最も多いもの)	今後の実施予定
全産業総合	1.6%	機械の新・増設	拡販投資	3.0%▲
製造業総合	2.0%	機械の新・増設	開発投資	5.1%▲
卸売業	0.0%	店舗事務所	開発投資	2.8%▲
小売業	1.9%	店舗事務所	拡販投資	0.0%▼
サービス業	1.1%	その他	合省力化	1.1%↔
建設業	1.6%	機械の新・増設	合省力化 拡販投資	4.1%▲
不動産業	—	—	—	—

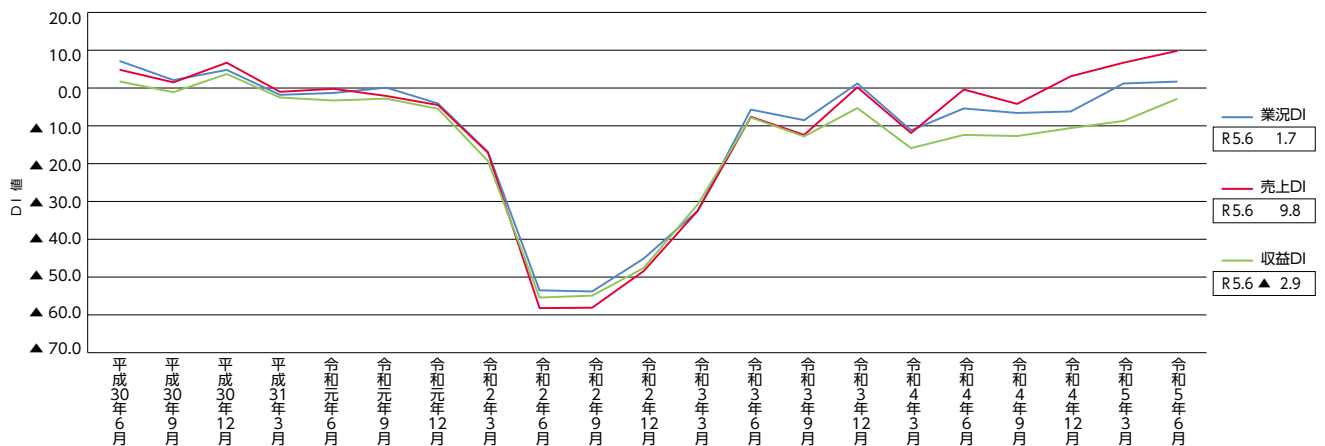
(今後の実施予定は今期実施割合と比較して増加する場合は▲ 減少する場合は▼ 変わらない場合は↔ で表記)

▶ 図表3 経営上の問題点

業種	経営上の問題点							
	売上・受注の減少		人手不足		競争の激化		その他	
	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較	今期割合	前期との比較
全産業総合	42.9%	▲	30.0%	▼	13.7%	▲	3.3%	▼
製造業総合	42.4%	▲	36.9%	▲	5.1%	▲	1.0%	↔
卸売業	37.8%	▼	29.7%	▲	18.9%	▲	5.4%	▼
小売業	57.4%	▲	14.8%	▲	25.0%	▲	11.1%	▼
サービス業	38.3%	▼	26.6%	▼	17.0%	▲	0.0%	▼
建設業	32.5%	▲	36.6%	▼	9.8%	▼	2.4%	▲
不動産業	60.9%	▲	21.7%	▲	34.8%	▼	0.0%	▼

(前期との比較は前回調査と比較して増加している場合は▲ 減少している場合は▼ 変わらない場合は↔ で表記)

▶ 図表4 主要DI値の推移

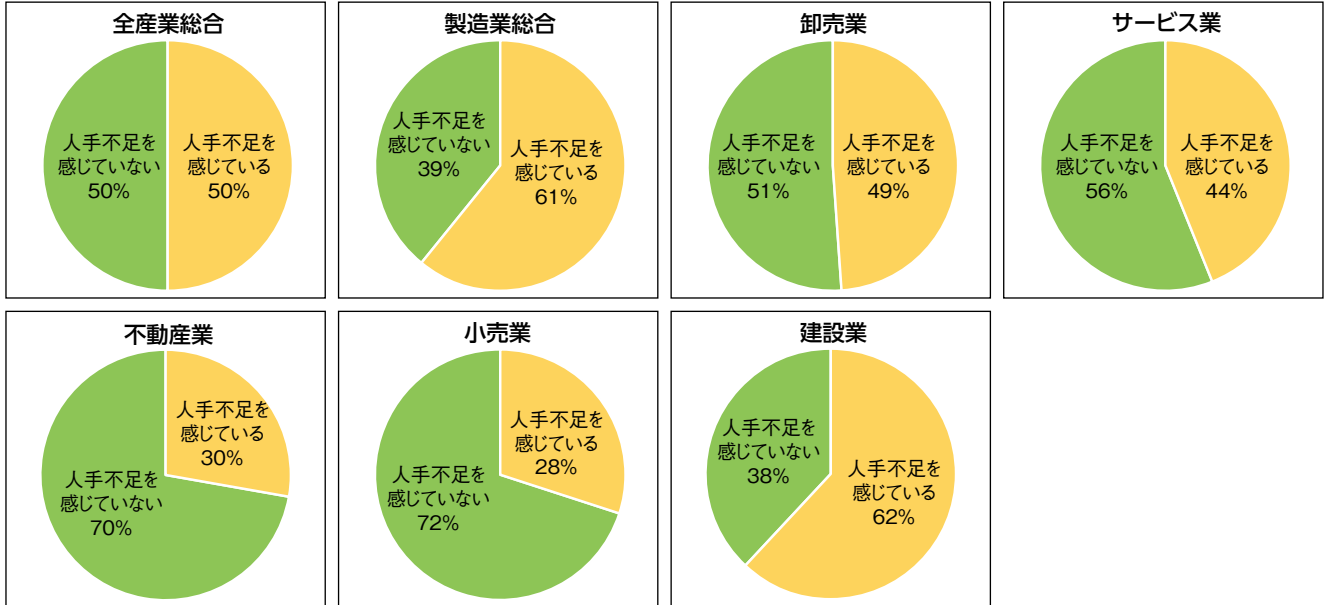




新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い人流が戻りつつある中で、「アフターコロナ」に向けて生産・売上は回復傾向にあります。一方で、コロナ禍で一時的に悪化していた需要が回復したため、多方面での人材不足が課題となっております。

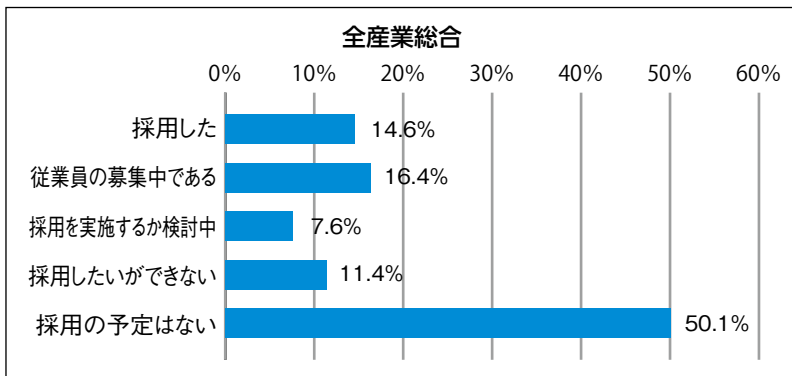
このような社会情勢の中で、各業種の雇用状況は大きく注目されており、今回は人材・雇用をテーマに特別調査を実施しました。

問1. 現在、人手不足を感じていますか？



全産業総合においては、「人手不足を感じている」「人手不足を感じていない」とも半分程度の割合となった。業種別では、製造業・建設業が「人手不足を感じている」割合が大きく、小売業・不動産業では「人手不足を感じている」割合が少ない傾向にある事が分かった。

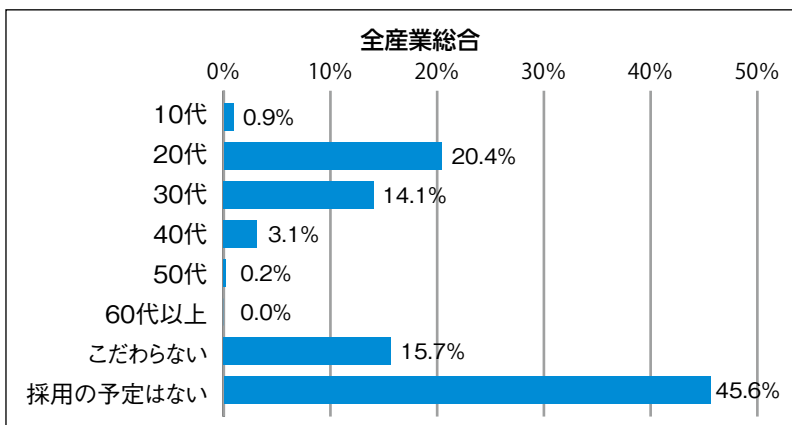
問2. 令和5年において従業員の採用を予定していますか？



令和5年内の採用は31.0%が採用済または、採用に取り組んでいる状況であった。

一方で61.4%が採用の予定はない、または採用したいができないとの回答であり、半数以上の事業所が年内の採用に消極的であることが分かった。

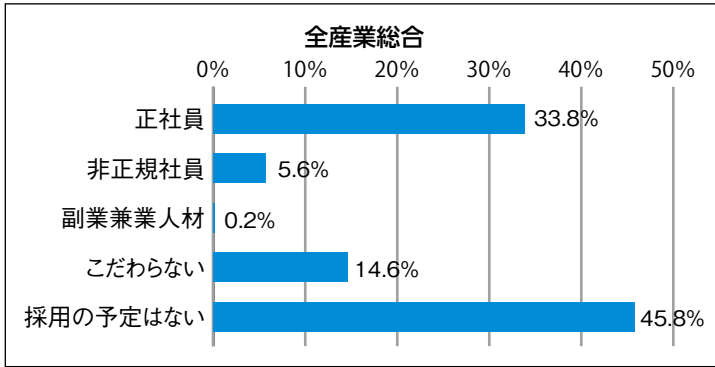
問3. 採用者の希望年齢を教えてください。



年齢別では20代が20.4%と最も多く、次いで30代が14.1%と若い年齢ほど需要が高く、40代以上からは大きく割合が減少している。

一方で「こだわらない」との回答は15.7%有り年齢に関係なく採用を希望するニーズもある事が分かった。

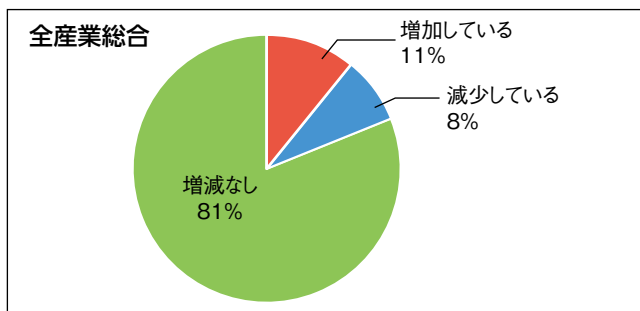
問4. 従業員の採用枠について教えてください。



従業員の採用枠は「正社員」が33.8%と最も多く、多くの事業所では長期安定的に勤務する従業員を希望している事が分かった。

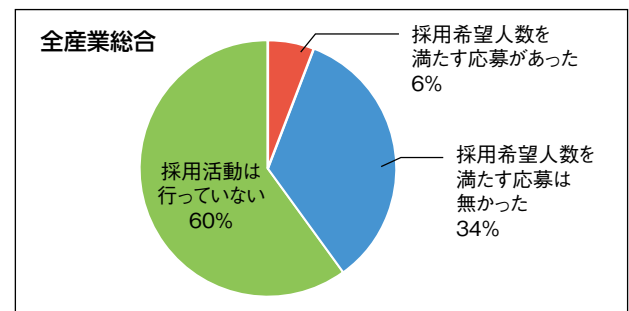
近年は働き方の多様化により副業兼業の人材マッチングが増えてきているが、当地でのニーズは少ない事が窺える。

問5. 直近1年程度の貴社の従業員数の増減について教えてください。



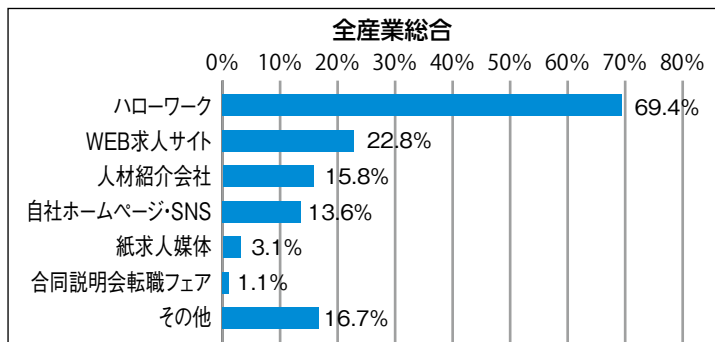
従業員の増減については「増減なし」が81%と従業員数に大きな変動が無い事が分かった。コロナ禍からの規制緩和が進むも物価高などの影響により景気の不透明感は強く、従業員の増加には慎重である事が窺える。

問6. 採用希望人数に対する応募状況について教えてください。



人材の確保状況について、全体の40%が採用活動を行ったが、採用希望人数を満たす応募があった先は全体の6%に留まっている。人材採用を進めるも希望通り人材が確保できていない状況が窺える。

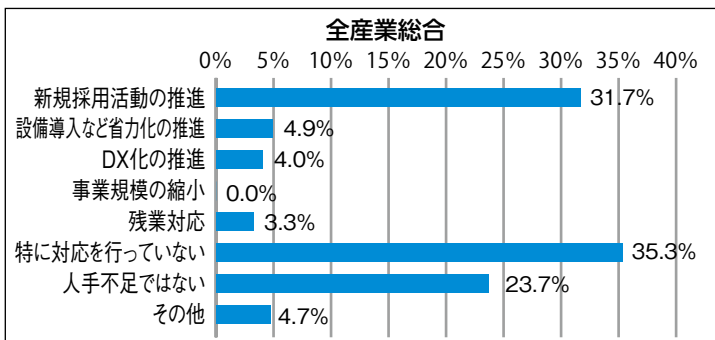
問7. どのような方法で、従業員の採用を行っていますか？ (複数回答可)



従業員の採用活動は、ハローワークの活用が69.4%と突出しており、主要な採用方法である事が分かった。

次いでWEB求人サイトやSNS等、デジタルを活用した採用方法が多く、採用方法の多様化が窺える。

問8. 人手不足に対してどのような対応をおこなっていますか？ (複数回答可)

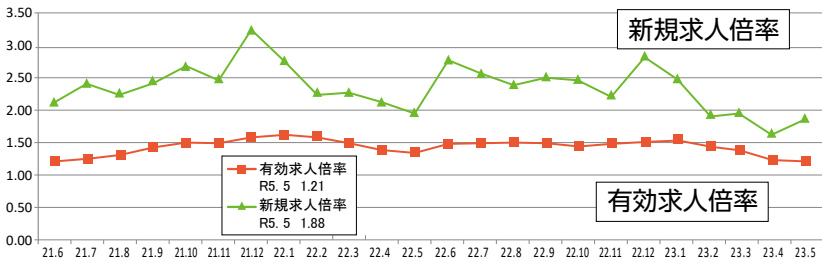


人手不足の対応については、新規人材採用により解消する回答が31.7%最も多い一方で、設備導入やDXによる省力化については合計で8.9%に留まった。「特に対応を行っていない」と回答した事業所が35.3%あり人手不足対策が十分に対応できていない事業所が多い事が窺える。



有効求人倍率・新規求人倍率の推移

(対象地域：西濃地方=2市4郡=大垣市・海津市・不破郡・養老郡・安八郡・揖斐郡) (単位：%)



求人倍率

●新規求人倍率とは

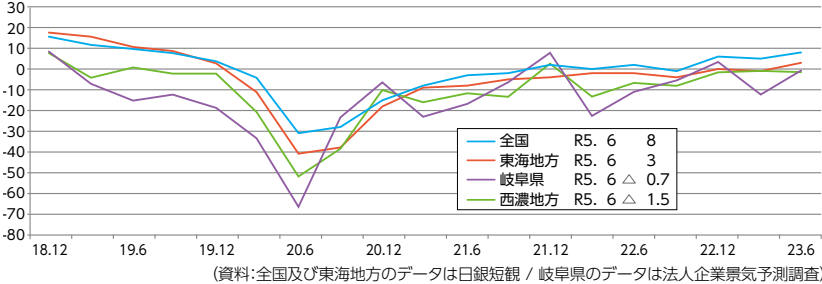
新規求人数(当該月に新たに受け付けた求人数の合計)を新規求職者数(当該月に新たに受け付けた求職者数の合計)で割ったもの

●有効求人倍率とは

月間有効求人数(先月から繰り越した求人数に、当月新たに発生した求人数を合計したもの)を月間有効求職者数(先月から繰り越した求職者数に、当月新たに発生した求職者数を合計したもの)で割ったもの

各地域と当金庫地区内の景気動向比較

(単位：ポイント)



(資料：全国及び東海地方のデータは日銀短観 / 岐阜県のデータは法人企業景気予測調査)

※直近調査データ対象企業数 回答率(%)

全国	9,147	99.4	岐阜県	169	88.2
東海地方	659	99.2	西濃地方	600	97.2

景気動向比較

●日銀短観とは(DI調査)

正式名称を「全国企業短期経済観測調査」といいます。全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを目的に、全国の約1万社の企業を対象に四半期毎に実施されております。

全国のデータ 出典 / 「全国企業短期経済観測調査」(日本銀行) <https://www.boj.or.jp/statistics/tk/index.htm/> を加工して作成

東海地方のデータ 出典 / 「東海3県の短観」(日本銀行 名古屋支店) <https://www3.boj.or.jp/nagoya/toukei.html> を加工して作成

●法人企業景気予測調査とは(BSI調査)

法人企業景気予測調査は我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、資本金1千万円以上の法人企業を対象に実施している調査です。

出典 / 「法人企業景気予測調査」(東海財務局) http://tokai.mof.go.jp/gifu/g_keizaiindex.htm を加工して作成



「つながり」は、だいしん経済クラブ・だいしん経営者懇話会を中心に、地元経営者の皆様のご縁を結ぶコーナーです。



株式会社養本社 土屋 雅裕さん



株式会社借拓堂アート 岡崎 拓さん



有限会社根尾開発 小澤 建司さん



株式会社クレーンタル野田 青木 宏文さん



日本プライメタル株式会社 荒木 康伸さん

株式会社クレーンタル野田
代表取締役社長
青木 宏文さん
(名古屋出身/60歳)

お客様に最高・最適の
揚重機械(クレーン等)を提供し、
社会の発展に貢献します。

岐阜県安八郡神戸町齊田1364-1
Tel.0584-27-9901



日本プライメタル株式会社
代表取締役会長
荒木 康伸さん
(垂井町出身/60歳)

様々な金属製品を加工から塗装まで
一貫対応。学校用の大型黒板など
も対応可能です。

岐阜県不破郡垂井町平尾718
Tel.0584-22-1033

休日はラグビー、ランクル、B級グルメ!

趣味のラグビーは不惑の年まで現役プレイヤーでした。現在は観戦中心で、W杯を楽しみにしています。2015年イングランド大会では世界3位の南アフリカに逆転勝利し思わず涙。2019年日本大会ではロシア戦を生観戦しました。今秋フランス大会も現地観戦の予定です。愛車は、納車1年7カ月待ちで手に入れたランドクルーザー。旅行やドライブ中のグルメ開拓も楽しみにしています。

#休日に寝て過ごすのはもったいない

4~11月は釣りや登山に毎月出かけています。福井敦賀方面の海釣り、30分以上魚と格闘し80cm超の鯛を釣り上げたことも! 登山は日本三霊山(富士山・白山・立山)を始め、様々な山に登っています。その道中で特産品やグルメも堪能。自家菜園も行っています。人と関わって刺激を受けたいと思っているため、色々な趣味にチャレンジ中。Twitter「あさきやすのぶ」もご覧ください。

2023 SUMMER Vol. 31

だいしん ビジネスでらす レポート

- 調査期 2023年4月~6月期
- 発行所 大垣西濃信用金庫 事業成長推進部
〒503-0828 大垣市恵比寿町1丁目1番地
TEL(0584)75-6148
- 発行日 2023年7月21日

DI(Diffusion Index)について

DIとは、増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの力が強いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかを見る方法である。

(例)前期に比べて売上が増加した企業割合30%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合20%の場合、DIは30%-20%=10%となる。

本レポートの分析について

本レポートの全業種総合及び各業種の分析は、前期(3ヶ月前)と比較した回答結果で実施しました。

だいしん
ケータイサイトは
こちらから

